

2006年五輪フィギュア代表選考の際、安藤美姫が直前の全日本で6位だったにもかかわらずなぜか代表選出、メディアも金メダル候補などと持ちあげ、本人も有頂天になっていたが当日の試合では15位という醜態をさらす。